



高輪だより

平成30年7月号
港区立高輪幼稚園
園長 柿沼 敦子

「高輪子どもまつり、大成功」

園長 柿沼 敦子

太陽の下、プールで水遊びを楽しむ子どもたちの元気な声が聞こえる季節となりました。

先日の高輪子どもまつりでは、園児とお家の方々と地域の未就園児親子の楽しむ声が幼稚園中に響き渡りました。PTAのご担当の方々、ボランティアでお手伝いしていただいた方々、ありがとうございました。ひよこの会（未就園児）の保護者の方からは「高輪幼稚園のおまつりは、子どもたちが中心になって作った形跡があり、楽しみながら友達と一緒に進めてきたものだということがよく分かり、素晴らしいと思いました。」とうれしいご感想をいただきました。年長組のアンケートでは、「友達と一緒に考え、工夫して作りあげていく楽しさ、自分の役割がよく分かり全うする達成感、異年齢とのかかわり、年長としての自負など様々なことが学べた取組だった。」年中組からは「お店もショータイムも自信を持って活動する姿に成長を感じた。」年少組からは「親子で楽しむことができた。わが子が成長していく姿が楽しみにになった」などのご感想を各学年から多数いただきました。また、保護者の方からも「お店屋さんになって子どもたちと関わることが楽しかった」というご感想を各学年を通じていただきました。高輪子どもまつりは大成功。大拍手です。

過日、全国国公立幼稚園・こども園長会総会・研究大会のため松江市に行きまして。島根大学大学院教授 肥後功一先生の『主体的・対話的で深い学び』を可能にするもの～幼児期に育てたい心の土台～という講演が深く心に残りました。「主体的な学び」は、大きな安心感・安定感に支えられていることが必要であり、母性と力がつながり十分なエネルギー補給される。「対話的な学び」は関わり（関係機能）を横糸に、分かり（認知機能）を縦糸にして、まるで織物のように生きる力としてのコミュニケーションが身についていく。それらは家族の「団らん」が土台である。「団らんのないところ言語なし（学力なし）」という貴重なお話でした。

各ご家庭では、団らんの中で子どもまつりの話をなさったことでしょうか。楽しげに微笑み語り合う親子の様子がアンケートの中からも読み取れました。今回のおまつりの大成功も、ご家庭の団らんに支えられていると強く感じています。ありがとうございました。

<高輪子どもまつり>



<プール開き>

